

## 記載上の注意事項

### 1. 推薦書

書式は自由ですが、推薦者から提出先に直接郵送してください。

### 2. 履歴書（様式1）

- 1) 和暦でなく西暦で記載してください。
- 2) 学歴欄は高校卒業以降の学歴を記載してください。
- 3) 免許欄に医師免許を記載してください。
- 4) 学位欄には授与大学名も記載してください。
- 5) 職歴欄には所属、職名、海外出張、留学(外国での身分)、教育歴等を記載してください。
- 6) その他の欄には主な所属学会名と役職名、学会認定医(登録番号・取得日)・専門医・指導医資格、社会における活動(医師会、公的機関の委員、ボランティア)等を記載してください。

### 3. 業績目録 次の順に記載してください。

- 1) **原著論文**：研究に新規性があり、目的、対象・方法、結果、考察・結論が明瞭に示され、査読制度のある学術研究誌に発表した論文。短報(学術研究誌に発表した Short Communications、Letters)を含みます。  
以下の区分ごとに出版年月の古いものから番号を付して後掲の「業績目録の記載例」に倣って記載してください。
  - (1) 筆頭者または責任著者として発表した論文（単著論文を含む）
  - (2) その他の共著論文
    - ・ Journal Citation Report 最新版のインパクトファクター(IF)を付記してください。
    - ・ 応募者の氏名と雑誌名に下線を引き、責任著者名に\*の印をつけてください。
    - ・ 印刷中の論文は(印刷中)または(in press)とし、証明書を添付してください。
- 2) **症例報告**：学術研究誌に発表した症例報告で、発表抄録を含みます。記載要領は原著論文に準じます。
- 3) **学会プロシーディングス**：原著論文相当のもののみとし、発表抄録は含みません。記載要領は原著論文に準じてください。
- 4) **総説**：特定の研究課題に関して、十分な文献的考察をもとにして学術的動向を展望したもので、学術研究誌に単著または、筆頭者あるいは責任著者として共著した総説のみとします。記載要領は原著論文に準じます。
- 5) **著書**：学術研究図書の一冊全部または一部を分担執筆したもの。図書の編集を含めませんが、監修は対象としません。
  - (1) 単著
  - (2) 分担執筆（執筆担当部分の論題を明記してください。）
- 6) **報告書**：科学研究費補助金の報告書、班研究報告書などの学内外の報告書。記載要領は原著論文に準じます。
- 7) **その他の出版物**：学術研究誌に発表した解説論文(エディトリアルなど)、患者・一般人向けに執筆した解説論文、新聞などの掲載記事です。記載要領は原著論文に準じます。
- 8) **学会発表**：学術研究集会およびそれに準じた学会における発表で、受賞講演、基調講演、特別講演、宿題報告、シンポジウム等代表的な発表10題以内に限り、  
演者名：題名．第〇〇回〇〇学会．場所．西暦年月  
(学術研究誌あるいは学会抄録集などに掲載されている場合は附記してください。)
- 9) **産業財産権**：特許・実用新案権、意匠権の出願・取得状況です。

4. **研究業績の概要** 1,800字以内でA4サイズ1枚に記載してください。

5. **教育・運営実績の概要** 1,800字以内でA4サイズ1枚に記載してください。

6. **主要論文別刷** 主な研究論文10編(各1部)を添えてください。

7. **教育業績評価表（様式2）** 具体的に記載してください。
8. **研究費採択状況一覧表（様式3）** 科学研究費及びその他の助成金について、種目、代表・分担の別、課題名、交付金額を年度順に記載してください。必要に応じて用紙を追加してください。
9. **教育に対する抱負** 今後の教育の抱負を A4 サイズ 1 枚 1,800 字以内に記載してください。
10. **研究に対する抱負** 今後の研究の抱負を A4 サイズ 1 枚 1,800 字以内に記載してください。
11. **講座・大学運営に対する抱負** 講座の今後の運営と、大学全体の運営に関与する抱負を A4 サイズ 1 枚 1,800 字以内に記載してください。
12. **申告書（様式4）**

◎ **業績目録の記載例**

【英文単著の場合】

Temma U.\* Coronary reperfusion with the cell shrinkage cocktail-eluting stent. Engl J Med 2020; 348: 2699-3003. [IF 53.5]

【英文共著の場合】

Temma U, Ohme T, Ochanomizu H\*. A humanoid microrobot applicable to self-directing intravascular therapy. Nature Science 2020; 523: 1543-7. [IF 36.1]

【和文論文の場合】

敷島健一, 伴俊作, 天馬午太郎\*. 嚙下式自己制御マイクロロボットによる逆流性食道炎の迅速診断. いがくのあゆみ 2020; 248: 2138-41.

\*様式1～4につきましてはご希望の場合はフォーマットファイルをお送りいたします。下記までご連絡ください。 メールアドレス [gakujibu@jikei.ac.jp](mailto:gakujibu@jikei.ac.jp)

以上